

人文学部と茨城町による官学連携「茨城町魅力再発見ウォーキング会」を実施

平成25年1月に地域連携に関する協定を締結した茨城町で「茨城町魅力再発見ウォーキング会」を平成26年4月6日（日）人文学部市民共創教育研究センターと茨城町が主催し、茨城町から市民グループなど30名、人文学部から学生・教職員10名が参加してウォーキング会を実施しました。

これは、3月18日に開催した人文学部学生による「茨城町魅力再発見プロジェクト」の活動報告会で発表された、町内の桜の名所を巡るウォーキングコース「さくら咲くサクコース」を桜満開の時期に実際に歩こうとなったものです。

前夜からの冷たい雨も茨城町役場庁舎を出発する午前9時には、晴れ間も見えるほどに回復し絶好のコンディションでした。出発前に役場ロビーでは、小林町長からのご挨拶、斎藤義則教授（センター長）から茨城町の魅力とウォーキング会の趣旨説明があり、小林町長に見送られながら一行はスタートしました。コースは、千貫桜、桜並木、息栖神社、茨城町運動公園、馬術苑、大戸桜公園を巡る3時間約8Kmの行程で、歩き方、町の歴史などの説明を受けながら、茨城町の自然を感じ、魅力を再発見するウォーキングとなりました。途中、休憩をとった茨城町運動公園では茨城町特産のイチゴの差し入れがあり、また、茨城町から銘菓や手作りパンが配られ「食」の魅力も加わりました。



千貫桜

【かつてこの地に桜の巨樹があり、義公（水戸光圀公）が終日めで「千貫の価値」があると賞賛したといわれる。現在は枯死したが、この地を千貫桜と称し、往事のようすをしのんでいるとの説明を受け、現在の茨城町の魅力ポイントを再発見しました。】



息栖神社

【茨城町の歴史サークルから、神社の由来、鳥居の方向と集落の関係の説明があり、現在は鳥居の前は畑となっている、昔は集落の中心であり村社として祭り続けられているそうである。】

ウォーキングコース

【北関東自動車道の側道を下り、涸沼川へ】





茨城町運動公園

【ウォーキングコースの中間点、茨城町運動公園で休憩，
一行は、差し入れされたイチゴで舌鼓】



馬術苑【馬術苑付近は、色鮮やかな桜、純白の桜が満開。乗馬練習 を見ることができました。】



大戸桜公園【大戸の桜は開花前のため、大戸桜公園でソメイヨシノの満開を楽しみました。】



さくら咲くサクコースウォーキング

【3時間のウォーキングを終え、茨城町から銘菓や手作りパン，
ペチュニア苗のお土産が配られ、心もからだも茨城町の魅力で
いっぱい解散となりました。】